

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1264
施設名	栄 保育園
施設所在地	立川市栄町3-33-3
法人名	社会福祉法人 修敬会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然 ビオトープ池

<テーマの設定理由>

栄保育園は民営化になって6年、新園舎になって4年が経過し、園庭に関しては保育園から自然の生態系が発信していけるような園庭づくりをしたいという思いがあり、子どもたちが自然を通して昆虫の生態系や様々な探究活動を存分にできる場を造りたいという思いで自然をテーマにし、今年度園庭にビオトープの池と築山、田んぼを設置しました。

2. 活動スケジュール

子どもたちが午前中、夕方の外へ出る時間帯に自由に実施

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定


(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 池にメダカと沼エビを放し水草を入れると、アメンボや鳥が水浴びに来たり、メダカが産卵～稚魚が孵化し成長が見られている。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

午前、午後の外へ出る時間に、子どもたちが自然とビオトープの池に集まり、デッキに腹ばいになって水に手をつけ、水の感触を楽しみ、メダカやアメンボの観察をしたり、池の飛び石を跳んだり築山の上り下りなど子どもたちがそれぞれに探索を楽しんでいる。大人は危険のないように見守ることを心がけ、子どもの気づきや探究心を育てています。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・様子	写真
<p>園庭に出ると一目散に池と築山に向かう子どもたち、デッキに腹ばいになって手を水につけ水の感触や冷たさを味わう子、飛び石を跳び、メダカの観察をする子とそれぞれが思い思いに自然と触れながら楽しんでいます。ビオトープから続く築山も上り方は年齢によってそれぞれ、大きい子たちは築山に走って上り、下りるのもまた勢いよく下りていきます。1歳児の子どもたちはなだらかな斜面の方から自力で上り、下りるのはお尻をつきながら1人で下りてくる姿はとてたくましく、子どもたちの表情もとてもイキイキして満足そうです。大人は子どもたちのすることを危険がない限り見守り、必要以上介入はしないでいることを心掛けています。そんな中で子どもたちは存分に自然と触れ探求していくことで足腰もしっかりきて、築山にもスイスイ上れるようになっていきます。池の中でもメダカの成長や新たな気づきや発見を日々している子どもたちです。</p>	

5振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

<p>子どもたちが日々池や築山で飽きずにずっと集中して遊ぶ姿を見ながら、子どものいろいろな気づきを共有したり、自然の持つ力や素晴らしさを大人も感じ取ることができている。今回の事業で、園庭にビオトープ池を作ったことで、近くに水場がない事もあり、鳥が水浴びにきたりすることもトンボや蝶が池に来たりして、メダカも卵を産み孵化しどんどん変化が見られ自然がより身近に感じられている。</p>
